

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	京都経済短期大学
設置者名	学校法人明德学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計			
	経営情報学科	夜・通信	15	0	32	47	7		
		夜・通信							
		夜・通信							
		夜・通信							
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.kyoto-econ.ac.jp/about/about-college/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	京都経済短期大学
設置者名	学校法人 明德学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.kyoto-econ.ac.jp/honbu/organization.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	現・寺院院首	2019.5.24 ～ 2021.5.24	組織運営体制への チェック機能
非常勤	現・議員	2019.5.24 ～ 2021.5.24	組織運営体制への チェック機能
非常勤	現・寺院院首	2019.5.24 ～ 2021.5.24	組織運営体制への チェック機能
非常勤	現・銀行員	2019.5.24 ～ 2021.5.24	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	京都経済短期大学
設置者名	学校法人 明德学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画書(シラバス)は各科目担当者が作成した後、学長が全科目の記載内容についてチェックを行い、必要に応じて修正を当該担当者に依頼している(学長担当科目は教学部長がチェック)。 授業計画書(シラバス)はカリキュラムが決定した後に作成し、当該科目開講学期の履修登録前にWebにて公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.kyoto-econ.ac.jp/about/about-college/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 授業計画書(シラバス)には成績評価方法について詳細に記載し、学生に分かりやすく明示している。成績評価はそこに記載された方法・基準によって厳格かつ適正に行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPAの算出方法については、履修要項に記載している。具体的な算出方法は以下の通りとしている。</p> <p>$[(S \text{ 評価単位数} \times 4) + (A \text{ 評価単位数} \times 3) + (B \text{ 評価単位数} \times 2) + (C \text{ 評価単位数} \times 1)] \div \text{総修得単位数}$</p> <p>GPAについては、每期学生に配付する成績表に記載し、学生が把握できるようにしている。また、直前期のGPAが一定基準(2.7)以上の者については、当該期の履修登録上限単位を+4とすることとしている(1年次前期は一律27単位を上限とする)。</p> <p>また、GPAが一定基準を満たさない場合は進級を認めていない。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.kyoto-econ.ac.jp/download/2020_rishuu.pdf</p> <p>上記 pdf ファイルの p21</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定方針は、ディプロマポリシーとして4項目(①基礎的学力、②専門性、③社会性、④社会における実践力)を定めている。これらの能力が身につけられるよう、開講科目を4つの分野(総合科目、語学科目、基礎教育科目、専門教育科目)に分け、それぞれに卒業要件単位数を設定している。</p> <p>これらの基準が満たされているかどうか、教授会において判定を行い、基準を満たした者に対して卒業を認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.kyoto-econ.ac.jp/about/about-college/</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	京都経済短期大学
設置者名	学校法人 明德学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kyoto-econ.ac.jp/honbu/projects.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.kyoto-econ.ac.jp/honbu/projects.html
財産目録	https://www.kyoto-econ.ac.jp/honbu/projects.html
事業報告書	https://www.kyoto-econ.ac.jp/honbu/projects.html
監事による監査報告(書)	https://www.kyoto-econ.ac.jp/honbu/projects.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.kyoto-econ.ac.jp/about/about-college/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経営情報学科
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.kyoto-econ.ac.jp/about/about-college/)
(概要) 21 世紀に入り、ますますめざましい進展をとげる高度情報化社会。それに対応できる人材を育成することは、これからの産業界にとって欠くことのできない任務となっています。京都経済短期大学はこのような時代のニーズに応えるために、経営学の基礎知識をベースに情報処理能力と経営能力をトータルに身につけた人材を育成し、さらに国際社会にも意識を広げ、幅のある人間的教養を身につけた個性豊かな 21 世紀の産業人を育てていくことを目的に設立されました。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.kyoto-econ.ac.jp/about/about-college/)
(概要) 建学の精神およびその展開としての目指すべき学生像を具現化した以下の基準を満たした学生に学位を授与する。 <ol style="list-style-type: none">1. 基礎的学力：「学びの基礎力」を獲得していること。2. 専門性：「職業人として求められる専門能力」を獲得していること。3. 社会性：「組織の一員として行動できる力」を獲得していること。4. 社会における実践力：「社会的課題の解決に資する力」を獲得していること。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.kyoto-econ.ac.jp/about/about-college/)
(概要) ディプロマポリシーに定めた、学位授与に必要な能力を獲得させるため、以下のカリキュラムを体系的に提供する。 <ol style="list-style-type: none">1. 幅広い教養と基礎的な学習能力を身につけるカリキュラム2. 経営学の基礎と情報処理能力を身につけるカリキュラム3. 経営・経済・会計・情報に関するより高度な専門知識を獲得するカリキュラム4. 講義で得た知識・能力を、実践において創造的に発揮するカリキュラム5. 職業人として即戦力となる技能を身につけるカリキュラム
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.kyoto-econ.ac.jp/about/about-college/)
(概要) 京都経済短期大学は、建学の精神・教育目標に基づき、以下のような人物を求める。 <ol style="list-style-type: none">1. 自己を理解し、自己の成長に挑戦できる人2. 将来への職業観を抱き、情熱と粘り強さを発揮できる人3. 他者の意見や周囲の状況に関心を持ち、他のために行動できる人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.kyoto-econ.ac.jp/course/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
—	—	4人	3人	7人	人	人	14人
—	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		人					人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.kyoto-econ.ac.jp/about/about-teachers/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経営情報学科	200人	255人	127%	400人	520人	130%	人	人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	200人	255人	127%	400人	520人	130%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経営情報学科	226人 (100%)	32人 (14.2%)	179人 (79.2%)	15人 (6.6%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	226人 (100%)	32人 (14.2%)	179人 (79.2%)	15人 (6.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 授業科目の授業方法及び内容並びに年間の授業の計画については、科目ごとにシラバスを作成し、学生に明示している。シラバス当該科目開講学期の履修登録前に Web にて公表し、学生はそれを参照して履修科目を決定するとともに、日々の予習復習等に活用している。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 学修の成果に係る評価は、シラバスに記載された成績評価方法・基準に則って、厳格かつ適正に行っている。卒業の日程基準はディプロマポリシーとして4項目（①基礎的学力、②専門性、③社会性、④社会における実践力）を定めている。これらの能力が身につけられるよう、開講科目を4つの分野（総合科目、語学科目、基礎教育科目、専門教育科目）に分け、それぞれに卒業要件単位数を設定している。				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	経営情報学科	64単位	有・無	23単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：GPAが一定基準の場合は、履修単位の登録上限を緩和している。		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： https://www.kyoto-econ.ac.jp/about/about-college/about-college-enviroment/
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
	経営情報 学科	680,000 円	220,000 円	360,000 円	施設維持費・教育充実費・実験 実習費
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学修支援として、今年度は入学時、対面でのガイダンスが実施できなかったため、登録に関する資料を送付するとともに、Webにて相談を受け付け、Q&A形式でWebに公開するとともに、電話等にて個別対応を行った。後期は履修登録ガイダンスを実施し、授業の履修について周知を行う。また、1年生前期については、ゼミナール登録や定期試験などに関するガイダンスを行い、学修が円滑に進むよう支援している。また、GW明けから学習状況調査を行い、必要に応じて個別面談を実施し、学修状況や生活状況を聞き取り、適宜アドバイスを行った。これらの情報は教員と職員で情報共有を行い、学生個別の状況に応じた支援を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 1年生前期よりキャリア科目やガイダンスの中で、将来の生き方や仕事について考えるための機会やきっかけを提供し、1年生5月と2月には個別面談を実施し、進路に関する考えを把握し、アドバイス等を行っている。また就職課による個別相談の随時実施、ゼミナール教員との学生情報の共有、また教員と職員が連携をすることで、学生一人一人の支援を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生の心身の健康については、週1回専門のカウンセラーが学生相談室に常駐し、相談に応じている。また、保健センターや事務局でも随時相談を受付、必要に応じてカウンセラーや外部医療機関につなげている。これらの情報は月1回実施する学生相談室報告会(教学部長、カウンセラー、保健センター担当者、学生支援課課長)にて共有し、個別に対応している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： https://www.kyoto-econ.ac.jp/about/about-college/

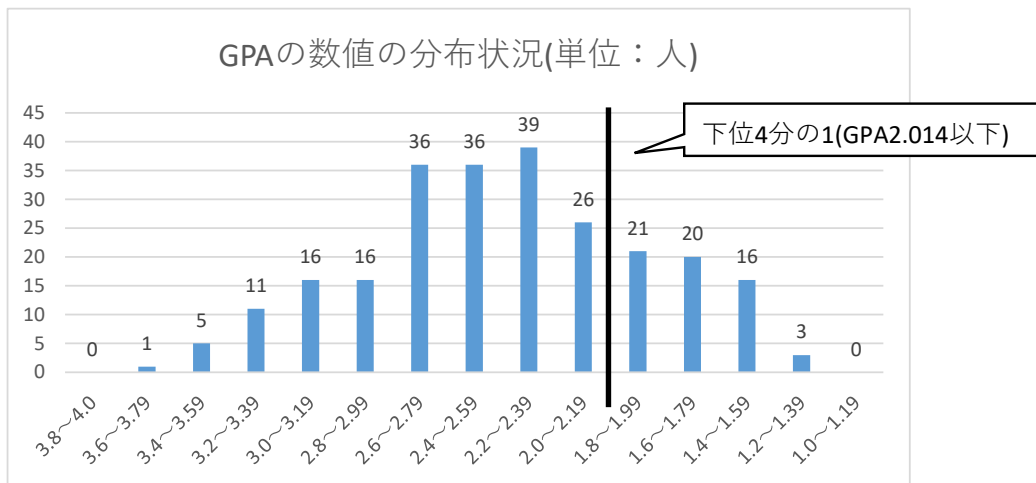
科目名	単位数
経営情報学科特講	2
日本語コミュニケーション	2
情報倫理	2
登録販売者実務演習	1
FP実務演習Ⅰ	1
FP実務演習Ⅱ	1
宅建士実務演習Ⅰ	1
宅建士実務演習Ⅱ	1
宅建士実務演習Ⅲ	1
ホテル・ブライダル業界対策Ⅰ	1
ホテル・ブライダル業界対策Ⅱ	1
キャリア実践活動単位認定制度	1
全学共通科目合計	15

科目名	単位数
環境学入門	2
キャリアプランニングⅠ	2
キャリアプランニング特別講義	2
現代社会事情	2
システム総合特講Ⅰ	2
システム総合特講Ⅱ	2
生産管理論	2
マーケティング論	2
プログラミング実践	2
データベース論	2
システム設計	2
プロジェクト演習Ⅰ	1
プロジェクト演習Ⅱ	1
プロジェクト演習Ⅲ	1
プロジェクト演習Ⅳ	1
工業簿記	1
原価計算論	1
財務分析論	2
税務会計論	2
専門科目合計	32

合計	47
----	----

経営情報学科 第2学年(学生数247名)

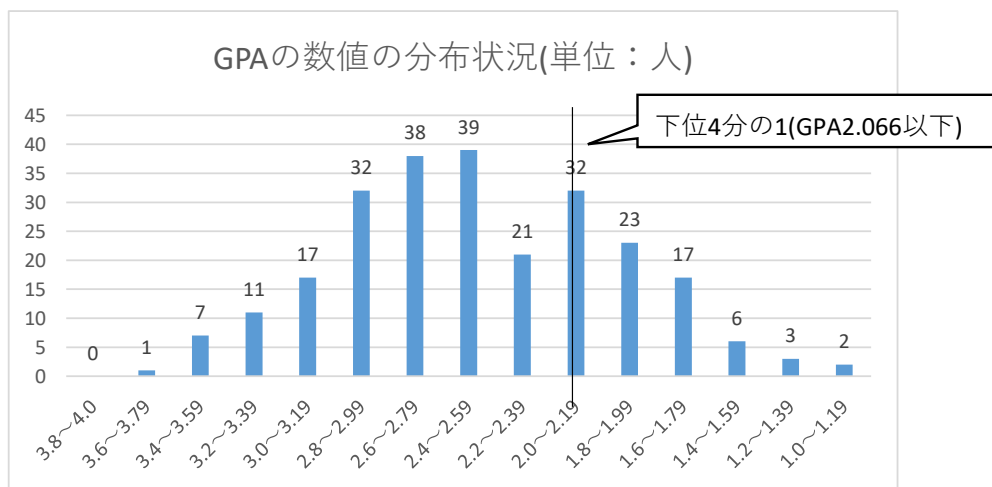
GPA	人数
3.8~4.0	0
3.6~3.79	1
3.4~3.59	5
3.2~3.39	11
3.0~3.19	16
2.8~2.99	16
2.6~2.79	36
2.4~2.59	36
2.2~2.39	39
2.0~2.19	26
1.8~1.99	21
1.6~1.79	20
1.4~1.59	16
1.2~1.39	3
1.0~1.19	0
成績無し	1



下位4分の1(61名): GPA2.014以下

経営情報学科 第1学年(学生数249名)

GPA	人数
3.8~4.0	0
3.6~3.79	1
3.4~3.59	7
3.2~3.39	11
3.0~3.19	17
2.8~2.99	32
2.6~2.79	38
2.4~2.59	39
2.2~2.39	21
2.0~2.19	32
1.8~1.99	23
1.6~1.79	17
1.4~1.59	6
1.2~1.39	3
1.0~1.19	2



下位4分の1(62名): GPA2.066以下